

健康福祉委員会資料

(健康福祉局関係)

1 平成30年第4回定例会提出予定議案の説明

(8) 議案第184号 川崎市視覚障害者情報文化センターの指定管理者の
指定について

資料1 指定管理者指定議案に係る参考資料

平成30年11月21日

健康福祉局

議案第 184号参考資料

1 管理を行わせる公の施設の概要

(1) 名称	川崎市視覚障害者情報文化センター
(2) 所在地	川崎区堤根 3 4 番地 1 5
(3) 設置条例	川崎市視覚障害者情報文化センター条例
(4) 設置目的	視覚障害者に対し情報を提供し、並びに日常生活及び社会生活を営むために必要な訓練その他の支援を行うとともに、視覚障害者のための活動の場を提供することにより、視覚障害者の自立と社会参加を促進し、もって視覚障害者の福祉の増進を図るため、川崎市視覚障害者情報文化センターを設置する。
(5) 施設の事業内容	(1) 点字刊行物、録音物等（以下「点字刊行物等」という。）の製作、収集、閲覧及び貸出しに関すること。 (2) 点字刊行物等の普及の促進に関すること。 (3) 視覚障害者に対する相談、生活訓練その他の支援に関すること。 (4) 視覚障害者の文化、学習及びレクリエーションの活動の支援に関すること。 (5) 視覚障害者の福祉の増進を図る活動を行う者の指導及び育成に関すること。 (6) 施設及び設備（以下「施設等」という。）を利用に供すること。 (7) 前各号に掲げるもののほか、第 1 条の目的を達成するために必要な事業に関すること。
(6) 現在の管理者	社会福祉法人 日本点字図書館
(7) 現在の管理運営費	83,968,400円（指定管理期間の平均年額）

2 指定管理者となる団体の概要

名 称	社会福祉法人 日本点字図書館
所 在 地	東京都新宿区高田馬場 1 - 2 3 - 4
代 表 者 名	理事長 田中 徹二
設 立 年 月	昭和 2 5 年 1 0 月 9 日
基本財産 又は資本の額	基本財産合計 834,998,806円 固定資産合計 2,260,938,253円
職 員 数 又は従業員数	理事 10 名、監事 2 名、職員 57 名
設 立 目 的	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援するため、視聴覚障害者情報提供施設日本点字図書館の設置経営及び全国の視聴覚障害者情報提供施設に関する連絡事業を行うことを目的とする。

事業概要 (30年度)	(1) 日本点字図書館（視聴覚障害者情報提供施設） (2) 「サピエ」システム管理者（視覚障害者情報総合ネットワークシステム） (3) 視覚障害者用日常生活用具の販売斡旋 (4) 日本点字図書館自立支援室（計画相談支援、自立訓練） (5) 川崎市視覚障害者情報文化センター指定管理者																										
決算 (29年度)	<table> <tr> <td>事業活動収入計(1)</td> <td>1,136,879,134円</td> </tr> <tr> <td>事業活動支出計(2)</td> <td>1,142,540,931円</td> </tr> <tr> <td>事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)</td> <td>△5,661,797円</td> </tr> <tr> <td>施設整備等収入計(4)</td> <td>656,000円</td> </tr> <tr> <td>施設整備等支出計(5)</td> <td>10,426,204円</td> </tr> <tr> <td>施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)</td> <td>△9,770,204円</td> </tr> <tr> <td>その他の活動収入計(7)</td> <td>604,877,768円</td> </tr> <tr> <td>その他の活動支出計(8)</td> <td>616,278,465円</td> </tr> <tr> <td>その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)</td> <td>△11,400,697円</td> </tr> <tr> <td>予備費支出(10)</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)</td> <td>△26,832,698円</td> </tr> <tr> <td>前期未支払資金残高(12)</td> <td>74,738,619円</td> </tr> <tr> <td>当期末支払資金残高(11)+(12)</td> <td>47,905,921円</td> </tr> </table>	事業活動収入計(1)	1,136,879,134円	事業活動支出計(2)	1,142,540,931円	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△5,661,797円	施設整備等収入計(4)	656,000円	施設整備等支出計(5)	10,426,204円	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△9,770,204円	その他の活動収入計(7)	604,877,768円	その他の活動支出計(8)	616,278,465円	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△11,400,697円	予備費支出(10)	0円	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△26,832,698円	前期未支払資金残高(12)	74,738,619円	当期末支払資金残高(11)+(12)	47,905,921円
事業活動収入計(1)	1,136,879,134円																										
事業活動支出計(2)	1,142,540,931円																										
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△5,661,797円																										
施設整備等収入計(4)	656,000円																										
施設整備等支出計(5)	10,426,204円																										
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△9,770,204円																										
その他の活動収入計(7)	604,877,768円																										
その他の活動支出計(8)	616,278,465円																										
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△11,400,697円																										
予備費支出(10)	0円																										
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△26,832,698円																										
前期未支払資金残高(12)	74,738,619円																										
当期末支払資金残高(11)+(12)	47,905,921円																										

3 指定期間

平成31年 4月 1日から平成36年 3月31日まで

4 選定結果

別紙のとおり

5 事業計画

項目	事業内容
障害者支援に対する考え方、方向性、取組	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚に障害を持つ市民の自立と社会参加活動の支援を行う。 ・市内のどこに住んでいても等しく質の高いサービスを受けられるよう、当事者に寄り添ったサービスを展開する。 ・市民として心豊かな毎日を過ごせるよう、生活・学習・仕事・余暇に必要な各種情報を提供し、市民に必要とされるセンターを目指す。 ・様々なイベントを開催し、利用者に対して文化活動を発信するとともに、交流の場の提供を行う。 ・視覚障害者への理解を促進するため、各方面に対して講演、研修会等を実施し、普及啓発活動を行う。 ・ボランティア団体及び障害者関係団体等と連携・協力を進める。 ・視覚障害者及び支援者に対する広報周知を行うことで、より多くの方にサービスを提供できるように努める。
施設運営計画(提供するサービスの考え方、日課等)	<ul style="list-style-type: none"> ・点字図書館事業 視覚障害者用の図書(点字図書、音声図書)の製作と貸出及び製作ボランティアの養成を行うとともに、平成31年1月に施行される著作権法改正に準じて視覚障害以外の活字読書困難者の利用も対応していく。

	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援・機能訓練事業 市民として心豊かな毎日を過ごせるよう、日常生活のQOLを高める様々な情報の提供、相談の受付、機能訓練等を、地理的に離れている北部地域の利用者にも等しく質の高いサービスを提供する。 ・視覚障害者用具の斡旋事業 施設内に視覚障害者用の生活用具コーナーを常設展示し、主だった用具類を取りそろえるとともに、最新機器の斡旋等を行う。 ・各種イベント開催による文化発信事業 読書会、音声解説付きDVD映画上映会、コンサート、エクササイズなど、幅広く文化情報を提供するとともに、視覚障害者同士の相互交流の場を提供する。 ・普及啓発事業 市民の視覚障害理解の普及啓発のために、各方面に対して講演、研修等を実施する。 ・ボランティア団体、障害者関係団体等との連携及び協力 市内のボランティア団体と連携し、よりよいサービスを目指すとともに、活動を支援する。また、障害者関係団体等と積極的に連携し、協力していく。 ・センター事業の広報 当該センターを知らない視覚障害者及び支援者に対する広報周知を行うことで、より多くの方にサービスを提供できるように努める。
他機関等との連携についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・市社会福祉協議会や、視覚障害者関係団体と連携を取りながら、利用者に有益な情報の入手及び提供を行う。 ・市内公共図書館とも連携し、より多くの方へ点訳・音訳図書をお届けられるように努める。 ・川崎市視覚障害者ボランティア連絡会と協力し、イベントの開催等を行う。
上乗せ提案	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD映画の音声ガイド製作及びボランティアの養成を行う。 ・プライベートサービス（個人のリクエストによる資料製作）におけるテキストデイジー図書（再生機器の合成音声読上機能を利用した文字データによる図書）の製作を行う。

6 収支計画

(単位：千円)

項目	金額（消費税及び地方消費税を含む。）					合計
	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	
収入	100,749	100,748	100,750	100,747	100,749	503,743
指定管理料	99,549	99,548	99,550	99,547	99,549	497,743
利用料金	0	0	0	0	0	0
その他の収入	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000
支出	100,749	100,748	100,750	100,747	100,749	503,743

別紙

川崎市視覚障害者情報文化センターの指定管理予定者の選定結果について

1 応募状況

応募団体：1団体（社会福祉法人日本点字図書館）

2 指定管理者選定評価委員会委員

赤塚 光子（元立教大学コミュニティ福祉学部教授）

渡部 匡隆（横浜国立大学大学院教育学研究科教授）

柳田 正明（山梨県立大学人間福祉学部教授）

行實 志都子（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部准教授）

谷川 淳（谷川公認会計士事務所）

3 選定理由

次期指定管理業務に関して仕様書に沿った提案がなされており、事業や収支の計画も妥当と言える。また、これまでの運営状況も良好であり、今までどおり安定した施設運営が見込まれること等を評価し、当該団体を選定した。

（1）施設の設置目的の達成とサービスの向上

施設利用者の特性や希望を理解し、また今までの運営実績を生かしたかたちで、施設の管理運営に係る適切な基本方針や事業計画、健康管理等についての提案がなされている点などを評価した。

（2）施設機能の発揮と管理経費の縮減

事業計画と整合がとれた収支計画となっている。また、効率的な施設運営をするにあたり、適切な経費縮減案が提案されていた。

（3）事業の安定性及び継続性の確保への取組

提案された職員体制及び業務改善に向けた取組が適切であった。

（4）応募団体自身に関する項目

当該施設に加えて類似事業の運営実績が豊富であり、運営実績を踏まえた提案がなされている点などを評価した。

（5）応募団体の取組に関する事項

情報公開の取組、個人情報保護、コンプライアンス遵守のための取組等が適切であった。

（6）その他の事項

小中学校や民生委員、一般企業等からの依頼による視覚障害者への理解啓発のための講演・研修会の実施や、地域の児童に対する視覚障害者理解を普及促進するための子供向けプログラムの企画・実施といった、地域における公益的活動に関する提案内容が適切であった。

4 審査結果（※基準点630点以上）

選定基準	配点	貴法人
①施設の設置目的の達成及びサービスの向上	350点	261点
②施設機能の発揮と管理経費の縮減	275点	182点
③事業の安定性及び継続性の確保への取組	200点	139点
④応募団体自身に関する事項	100点	72点
⑤応募団体の取組に関する事項	75点	48点
⑥その他の事項 （地域における公益的な活動）	50点	38点
実績評価点 （標準を0点として、加減点）		53点
合 計	1,050点	793点

5 提案額

497,743千円（5年間）